

信頼される美浦小学校を目指して

教育公務員としての自覚をもち、法令を遵守し、服務規律の徹底に努める

目指す教職員の姿

- ・ 高い使命感をもつ教職員
- ・ 児童や地域の実態と社会の変化を的確に捉える教職員
- ・ 積極的に授業改善等の研修を重ね、実践的専門性を高める教職員
- ・ 誰とでも協働できる教職員

【教職員のコンプライアンス意識向上のために】

- 定期的に研修を実施する。
- 定期的に複数の目で安全点検を行う。死角をつくらない校舎内外の整理整頓を行う。
- 職員間のコミュニケーションを大切にし、ストレスをためない職場環境づくりに努める。
- 心にゆとりをもって仕事をし、職場の心理的安全性を高める。

【未然に防ぐための具体的な取り組み】

<交通安全・飲酒運転>

- 時間に余裕をもって運転する。
- 教職員の自家用車に児童を乗せない。
- 飲酒する場合は、車を自宅に置く。

<体罰・暴言・不適切な対応>

- 児童の人権を尊重して接する。
- 感情的にならず、教育的配慮をもって対応する。
- 児童への言葉遣いに気を付ける。

<個人情報の漏洩・情報管理>

- 個人情報を校外に持ち出さない。
- 個人情報を個人のPCや携帯電話に保存しない。
- 机上、ロッカー等の整理整頓を心掛ける。
- 学校のカメラを使用し、データは共有フォルダで保管する。

<わいせつ行為・ハラスメント>

- 個人の携帯電話で、保護者に連絡しない。
- 児童とのメールやSNSでのやり取りをしない。
- 個人の携帯電話等は、原則職員室から持ち出さない。(必要に応じて管理職の許可を得る)
- 指導や相談の個人対応は、原則2名以上の教職員により実施する。

<問題の予兆・兆候の把握>

- 児童からの情報を複数で丁寧に聞く。
- 自己判断せず、組織で対応し、報告・連絡・相談・確認・記録を徹底する。

<相談体制の整備・保護者、地域との連携>

- 日々、保護者や地域との信頼関係づくりに努める。
- 保護者や児童との教育相談の場を設定する。
- SCや外部専門機関と連携して対応する。

<事実の確認・初期対応>

- 複数で事実を確認し、素早く共有する。
- 組織で迅速に対応する。
- 事実確認したことを、時系列に記録する。